

令和4年6月28日（火）

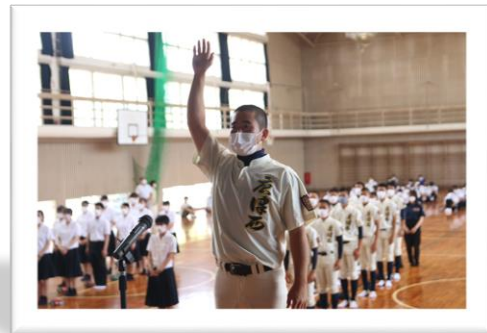
全国高等学校野球選手権大会佐賀県大会  
九州・全国高等学校総合体育大会・九州・全国高等学校総合文化祭  
壮行会 激励あいさつ



学校長 下村 昌弘

さて、ここに集った皆さんは競技種目や参加分野の違いがありはしますが、それぞれが新しい挑戦のステージに立つことになります。

野球部、吹奏楽部の皆さんにとってはいよいよ高校生活の集大成となる大会です。これまで培ってきた力を全部出し切ってきてください。野球部は開幕戦。一番いい試合を引き当てましたね。しかも対戦相手は旧知のチームです。同じミスをしないよう、グリーンベースボール、やりきってください。吹奏楽部は少ない部員ながらも校内外のいろいろな舞台上で演奏を披露してくれました。本番ではこれまでで一番いいハーモニーを響かせてください。



一方、九州大会・全国大会に進む皆さん、そんな機会は誰にでもおとずれるものではありません。県代表としての自負をもって、最高のパフォーマンスを発揮してください。

かくいう私も、自慢ではありませんが（ほんとは自慢なのですが）、高校3年生の時に全国インターハイ（弓道競技）に出場しました。

その時の担任の先生の言葉は今も忘れません。それは「せっかく全国に行くのだからしっかり人を見てきなさい」という言葉でした。

九州大会・全国大会は各県を勝ち抜いた、いわば各地の精鋭たちが集まってきます。出場するからには、自分のプレイに集中することは当然です。しかし、そこにとどまらず、どこの高校生が、どういう思いで、どういう過去を背負いながら、そこに集まってきたのか。そういったことを想像しながら、よく人間を観察し、できれば話しかけてみてください、友達を作ってきてください。きっとこれから自分が生きていく糧になるものが得られるでしょう。



いずれにしても、この学校で、練習や稽古ができる、残された日々はわずかです。今日からの一球一球、一本一本といった一つ一つの練習が「これが最後」のつもりで過ごしてください。

“Ask, and it will be given to you.” 「求めよ。さらば与えられん」。 西高生の健闘を祈ります。フレ、フレ西高！ 頑張ってください。